

京奈和自動車道の整備促進

平成26年11月

【担当省庁】財務省、国土交通省

奈良県の提案要望

企業立地や働く場の創出など、産業の活性化に向け京奈和自動車道の整備が必要

このため、京奈和自動車道の平成30年代半ばに奈良ICから和歌山県境までの完成供用を要望

残事業 約1,850億円 (県負担 約464億円)

大和北道路 約 840億円

大和御所道路 約1,010億円

(参考)大和北のトンネル区間

事業費 約2,250億円(県負担約565億円)

〔国道24号(柏木町交差点等)〔関連〕〕

・**渋滞対策のための6車線化
早期着手を要望**

① 大和北道路

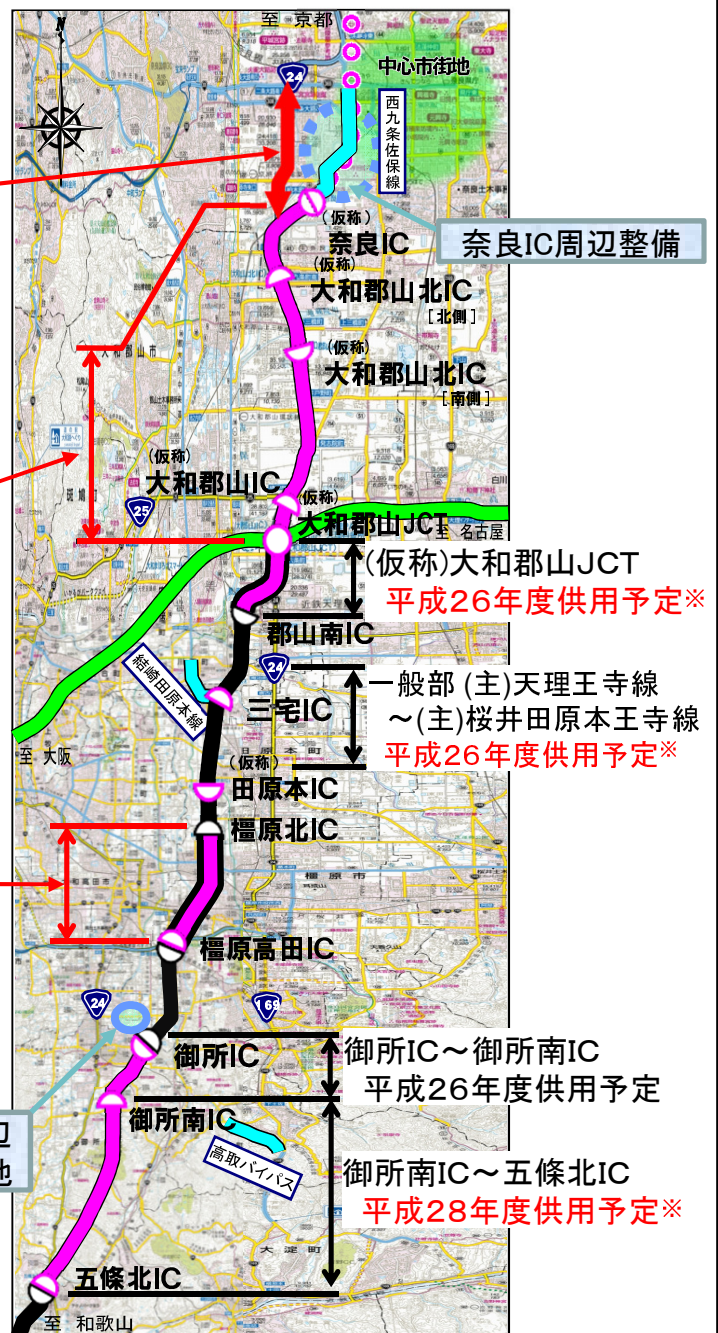
(仮称)奈良IC～(仮称)大和郡山JCT

・**早期工事着手及び
平成30年代半ば供用を要望**

② 大和御所道路

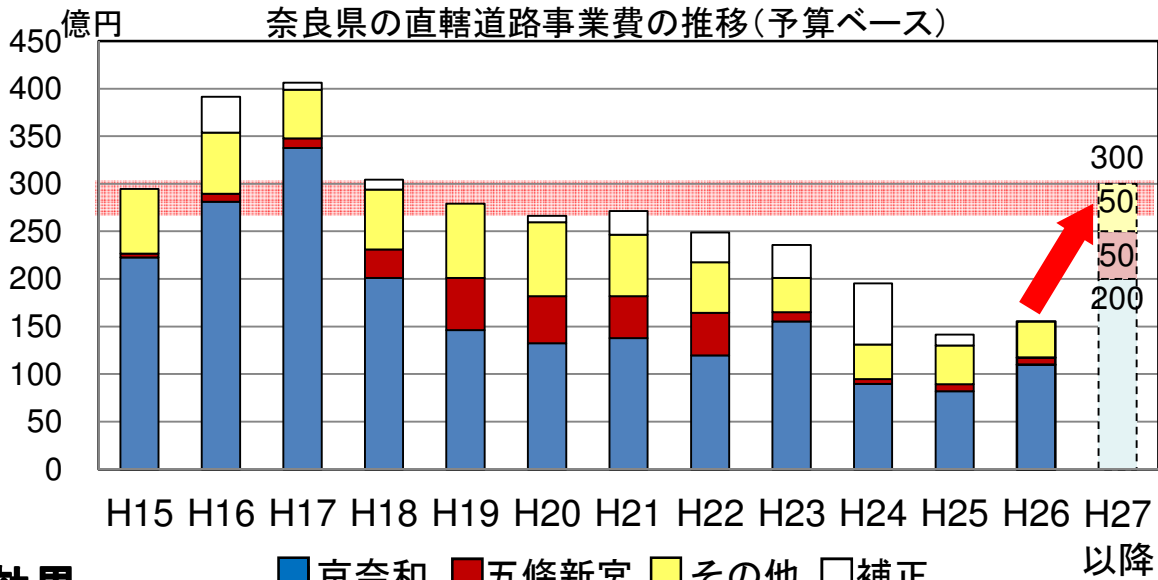
橿原北IC～橿原高田IC

・**早期工事着手及び
平成30年代半ば供用を要望**



(※:平成26年4月に新たに開通見通しが公表された区間)

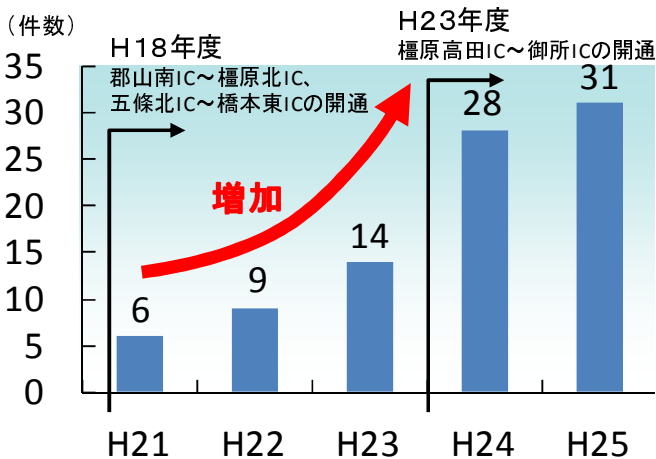
今後の供用目標の実現には、直轄道路事業費を平成20年代初め頃と同レベルの毎年約300億円への回復が必要



整備効果

- 大和御所道路の開通により、工場の新增設や新たな設備の導入等が進み、地域産業が活性化
- 五條北ICまでの開通を見据え、工業団地の新設や分譲が進み、企業立地や雇用創出が推進

大和御所道路の開通と企業立地状況



京奈和自動車道周辺の工業団地等



「奈良県企業立地セミナー」を東京・大阪で開催

知事によるトップセールス



本県の企業立地環境や新規事業展開への支援策等を説明
企業誘致や投資対象としての奈良の魅力
をアピール

御所IC周辺産業集積地形成



開発面積 約10ha、分譲面積 約7ha
分譲の目標時期 **平成29～32年度**
(区画完成ごと)
今年度は測量・設計・用地買収を実施予定

周辺プロジェクト

